

今年もよろしくお願ひいたします。

ますます厳しさを増す経済情勢ですが昨年の3・11

の東日本大震災によって多くの人たちが人命や家屋、財産を奪われた未曾有の大災害となる一方、日本人の多くに「がんばろう」「負けないで」「自分に何かできることはないか」つまり「共に生きる」という「絆」文化がよみがえることとなりました。こうした「絆」文化を誰よりも長い間望んでいたのは障害者自身でありました。人々の絆に支えられた共生の地域社会こそもっとも成熟した誰もが安心して暮らせる社会であります。

今日こそ社会福祉法人の役割が問われている時ではないかと思っています。まさに社会福祉法人として、今日の役割はこうした絆に支えられた地域社会を造ることにあります。地域づくりこそ、これからの当法人の大きな使命となるべきであります。

はるにれの里はこうした地域社会に向けて本年もまた一歩前進していく所存であります。共にがんばっていきましょう。

社会福祉法人 はるにれの里

統括常務理事 木村 昭一